



OPEN
Compute Project

OCPJ としての活動報告

2013年9月18日

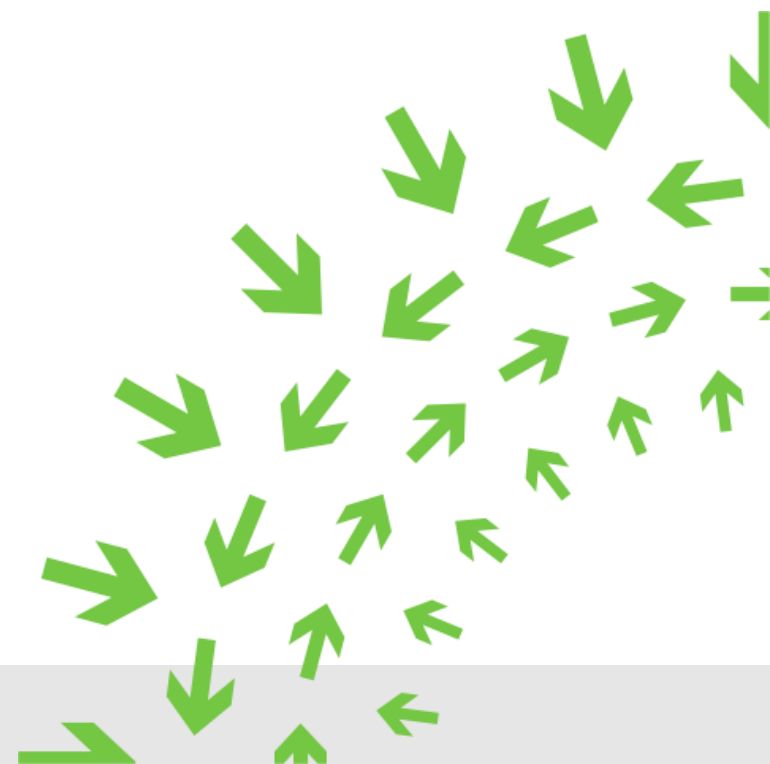
OCTED ファシリティー部会

4月17日 : OCPJ 第二回運営委員会

7月 1日 : OCPJ 第三回運営委員会

8月 1日 : OCPJ 第四回運営委員会

7月 9日 : OCPJ第一回広報委員会

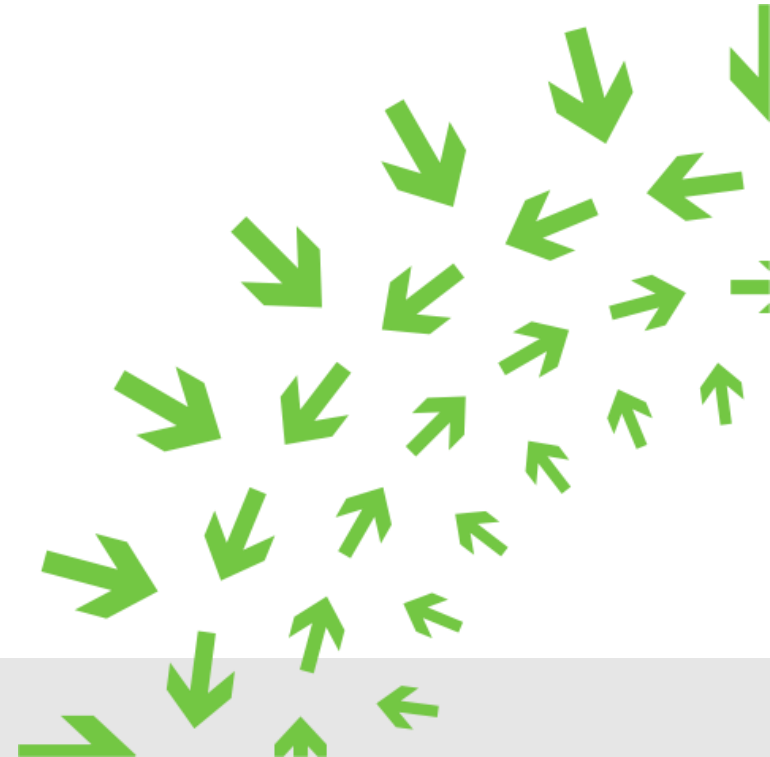




OPEN
Compute Project

Open Compute Project Japan Working Groupのご紹介

2013/09/02
OCP Japan



	名称	概要
1	White DataCenter WG	美唄市にて実施するWhiteDC実証実験において、その検証用として調達するOCP準拠のサーバ、PowerSupply、ラックアッセンブリの組み立て、運用を通じてOCPコンポーネントに対する理解を深めることを目的とする。
2	Compliance & Interoperability WG	OCPJ C&I WGはOCPが定義したガイドラインにとどまらず、日本の市場が要求する日本独自のスペックやS/Wレイヤー、OSSコンパチビリティまで含めたOCPJ推奨仕様を検討する。
3	Future Lab WG	High Performance Computing Cloud やApplication Frameworkなど将来のためのリサーチを行い、新たなC&Iチェックリストを提案し、OCPとオープンソースコミュニティに貢献する。
4	HVDC WG	消費電力量の削減を図り、給電信頼度を高め、省スペースを実現するHVDCシステムをデータセンタ向けの日本発の技術としてOCPに提言する。
5	Seismic Issue WG	日本での地震対策概要をドキュメント、ホワイトペーパーとして整理し、OCPに提言する。
6	Publicity(広報) WG	OCP, OCPJの活動を内外に発信することで、OCPの普及促進に貢献する。
7	Translation(翻訳) WG	OCPのドキュメントや情報を日本語に翻訳し、OCPの理解と普及促進に貢献する。また日本発の情報を英語で発信しOCPとOCPJメンバーに貢献する。

1	White DataCenter WG
リーダー メンバー	データホテル:伊勢幸一
1. 概要および目的	2013/8/1から2014/3/31に美唄市にて実施するWhiteDC実証実験において、その検証用として調達するOCP準拠のサーバ、PowerSupply、ラックアッセンブリの組み立て、運用を通じてOCPコンポーネントに対する理解を深めることを目的とする。
2. 内容	<p>(1)OCPコンポーネントの調達方法、注文方法の確認</p> <p>(2)コンポーネントの仕様、数量、付属品の把握</p> <p>(3)コールドアッセンブリ(開梱組立)ハンズオンの実施(電力供給なし)</p> <p>(4)コールドディアッセンブリ(分解梱包)ハンズオンの実施</p> <p>(5)実証実験値でのホットアッセンブリハンズオンの実施(電力供給あり)</p> <p>(6)運用コンディション測定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吸気、排気温度、湿度、圧力等の測定 ・サーバ内温度と消費電力の測定 ・送風ファン回転数変動による変化の確認 <p>(7)サーバ内における流線の観察(可能であれば)</p> <p>(8)上記ハンズオン及び実証実験結果の報告と発表</p>
3. スケジュール	<p>2013年</p> <p>8月: コンポーネント仕様の検討と発注手続き</p> <p>9月: 受け入れ研修、および都内でのコールドアッセンブリハンズオン実施</p> <p>10月: 美唄市でのホットアッセンブリハンズオン実施</p> <p>11-12月: 運用コンディション測定</p> <p>2014年</p> <p>1月-3月: 実証実験報告書作成および発表</p>
4. 備考	ハンズオン等への参加は無料ですが、交通費・宿泊費・食費等は参加者負担です。

2	Compliance & Interoperability WG
リーダー メンバー	ネットワークシステムズ: 藤田龍太郎
1. 概要および目的	OCPJ C&I WGはOCPが定義したガイドラインにとどまらず、日本の市場が要求する日本独自のスペックやS/Wレイヤー、OSSコンパチビリティまで含めたOCPJ推奨仕様を検討する。
2. 内容	<p>(1)OCP C&I Projectの内容の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメント、スタンダード、ベストプラクティス ・ソフトウェアフレームワーク、ツール、アーキテクチャー ・C&I Certification <p>(2)ITRI's(台湾工業技術研究院) Certification Labの理解と協業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Objectives、プロセス ・OCPJとのコラボレーション方法、内容検討 <p>(3)日本市場のCertificationに関する要求の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象製品、システム、日本独自のスペック、S/Wレイヤー <p>(4)日本のユーザー、サービスラーのためのOCP認証機能の定義とOCP認証方法の検討 およびProof of Conceptの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OCP認証、 OCPJ推奨(日本独自のスペック、S/Wレイヤー、OSSコンパチビリティ)
3. スケジュール	2013/9-11: (1)~(3) 2013/12-2014/3: (3)~(4)
4. 備考	

3	Future Lab WG
リーダー メンバー	会津大学: 福原英之 北海道大学: 棟朝雅春
1. 概要および目的	High Performance Computing Cloud やApplication Frameworkなど将来のためのリサーチを行い、新たなC&Iチェックリストを提案し、OCPとオープンソースコミュニティに貢献する。
2. 内容	<p>(1)High Performance Computing Cloud(大規模計算、ビッグデータ処理)</p> <p>(2)Application Framework(echo PHP, echo Ruby)</p> <p>(3)Compliance & Interoperabilityの将来スコープ検討、テスト項目検討、テスト方法作成</p>
3. スケジュール	White DC WGと C&I WGの方向性を確認しながら検討を始める。
4. 備考	

4	HVDC WG
リーダー メンバー	NTTデータ先端技術:村文夫 NTTコムウェア、 さくらインターネット
1. 概要および目的	消費電力量の削減を図り、給電信頼度を高め、省スペースを実現するHVDCシステムをデータセンタ向けの日本発の技術としてOCPに提言する。
2. 内容	(1)HVDCシステムの広報活動 (2) GUTP(グリーン東大)DCIM-WG HVDC-SWGと連携した標準化
3. スケジュール(案)	2013/09: WGの発足と広報活動開始 2013/10: 台湾CCAT来日時にHVDC+12V紹介 2013/12: GUTP(グリーン東大)DCIM-WG HVDC-SWGと連携した標準化 2014 : OCPに提言
4. 備考	知的財産の保護検討

5	Seismic Issue WG
リーダー メンバー	竹中工務店:小林哲雄
1. 概要および目的	日本での地震対策概要をドキュメント、ホワイトペーパーとして整理し、OCPに提言する。
2. 内容(案)	<p>(1)地震対策(日本国内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法(構造基準の改正と阪神大震災後、東日本大震災後) ・建物構造への適合(耐震、制震、免震、縦方向対策) ・既存建物への適合(耐震改修、免震改修、床免震 他) ・免震建物への設備適合事例(電気配線、空調配管、衛生配管 他) <p>(2)免震建物Tour</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OCP-AP, OCPJ workshop等の際、免震建物、免震改修建物 Tourを開催
3. スケジュール	
4. 備考	□免震建物Tour募集 / 免震建物Tourに対応していただける免震建物のセンターも合わせて募集!

6	Publicity(広報) WG
リーダー メンバー	データホテル:門馬優子(OCPJ事務局) Agile_Cat:鵜澤幹夫、 NTT Com:林雅之、OCPJ事務局:花山寛、山口薫、
1. 概要および目的	OCP, OCPJ, OCPTの活動を外部に発信し、OCPの普及促進に貢献する。
2. 内容	<p>(1)情報発信(外部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローカライズされたOCPドキュメントの公開 ・OCPJ成果物の公開 ・OCP, OCPJ, OCPTのイベント情報の発信 ・記事、出版物の紹介 ・OCP関連情報の共有 <p>(2)情報発信(内部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OCPJのイベント情報、活動情報の共有 ・OCP/OCPT関連情報の共有 ・イベント案内 <p>(3)ロゴ、シンボルマーク管理:レギュレーション作成とマスター管理</p> <p>(4)テンプレート管理:発表資料などのテンプレート管理</p> <p>(5)イベント企画:ハッカソン、セミナーなどOCPJのイベント企画、運営</p> <p>(6)プレス対応:一時窓口対応</p> <p>(7)OCP関連ニュースの蓄積:関連ニュースのチェック、発信情報の把握</p>
3. スケジュール	通年を通して随時活動あり。または、イベント時などに活動頻度があがります。
4. 備考	

7	Translation(翻訳) WG
リーダー メンバー	Agile_Cat: 鶴澤幹夫 データホテル: 門馬優子、 Xseed: Shelley
1. 概要および目的	OCPが発行する各種ホワイトペーパーなどを日本語に翻訳する。また、その成果物である日本語ドキュメントを広報WGから配布することで、Open Computeに関する情報共有を促進する。
2. 内容	(1)用語に関する取り決め (2)翻訳すべきドキュメントの選定 (3)翻訳作業と有識者による校正 (4)翻訳ドキュメントの公開 (5)フィードバックの受付 → (3)に戻ってブラッシュアップ
3. スケジュール	順次:すでに翻訳済みドキュメントの校正 Data Center (V1.0) 校正済(by 竹中工務店) Server Chassis and Triplet (V1.0) Battery Cabinet (V1.0) Intel Motherboard (V2.0) AMD Motherboard (V2.0) 450W Power Supply (V1.0) Open Hardware Management (Proposal) 新たな翻訳: Open Vault Storage Hardware (V0.7)
4. 備考	



OPEN
Compute Project
Japan

<http://opencomputejapan.org>

<https://www.facebook.com/opencomputejapan>